

チェック項目		ポイント	
マネジメント	組織体制	<input type="checkbox"/> COVID-19施設内発生時や地域流行に備えた業務継続計画(BCP)が作成されている	発生状況やスタッフ不足に応じた縮小や継続の方法、また、スタッフの宿泊先確保等の対応なども考慮されているとよい。BCPについては、新型インフルエンザ等発生時の業務継続計画作成手引き等を参考にするとよい。 参考：厚生労働省「介護施設・事業所における業務継続計画(BCP)作成支援に関する研修」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00002.html
		<input type="checkbox"/> 指揮命令系統が明文化されている	事務部門も含んだチームを構成し(感染管理、データ管理担当、外部(保健所等)との調整役等も含む)、施設全体で支援するような体制となっている。
		<input type="checkbox"/> 情報共有方法の構築と周知がされている	対策チームや幹部で決定された事項を現場に確実に伝達ができる体制となっている。
		<input type="checkbox"/> 対応のためのマニュアルが作成・更新されている	通常の感染管理マニュアルに加え、疑い感染者・確定感染者発生時の連絡体制、感染拡大防止策(診療方法、ゾーニング、コホーティング(集団隔離)、個人防護具(PPE)の適応、使用済みリネン・器材・食器の取り扱い、濃厚接触者の対応など)、スタッフの就業制限、復帰基準等も記載しておく。
		<input type="checkbox"/> 利用者相談の対応者を決め、利用者・家族及びメディアの対応マニュアルが作成されている	利用者および家族(時にはメディア)への説明文章等の作成や外部への情報公開ポリシーの決定がされている。
	スタッフ管理	<input type="checkbox"/> スタッフ等の名簿データを管理している	スタッフ名簿や利用者名簿を準備しておき、感染者や濃厚接触者、検査の情報を一元化できるようにする。情報が散在しないように工夫をする。
		<input type="checkbox"/> スタッフの施設外勤務の把握がされている	施設外からの持ち込みや施設外への拡大可能性の評価に必要となる。把握については必要性の理解を得ることが重要となる。
感染管理	健康管理	<input type="checkbox"/> スタッフの健康管理と記録が行われている	施設全体のスタッフの健康管理と記録を行う。発熱等の早期把握と報告の実施により状況の変化を早期発見できる体制を整える(異常がないことの記録も重要)。軽症であっても休める環境づくりや、勤務状況の確実な把握が重要となる。
		<input type="checkbox"/> 利用者の健康管理と記録が行われている	原疾患等も考慮し、施設内でのCOVID-19早期探知を念頭においた管理が実施されている。
	感染伝播リスク減少	<input type="checkbox"/> 共有エリアでの密を避ける方法の検討と導入がされている	食堂等共有スペースで密にならないような対応がとられている。
		<input type="checkbox"/> 高頻度に不特定多数が接触する場所の消毒を実施している	供用物等を介した感染拡大を防ぐため、居室等の整理整頓及び手すりやドアノブ・エレベーターボタンなど、よく手が触れる場所のふき取り、消毒を実施する。
		<input type="checkbox"/> 利用者の発熱などの症状を確認して対応し、記録されている	発熱、症状の有無を確認・記録する。疑い感染者への対応策を講じておく必要がある。
		<input type="checkbox"/> 面会制限・入館者管理を行い、体調管理がされている	利用者家族に加え、出入りする外部業者等を把握し、体調管理がされている。
		<input type="checkbox"/> 正しい手指衛生を周知徹底している(利用者等も含む)	施設入口や必要な箇所にアルコール消毒薬を設置し、石けんと流水による手洗い、アルコール消毒薬による手指消毒を徹底。
		<input type="checkbox"/> N95マスクのフィットテスト実施状況や個人防護具(PPE)着脱手順の確認がされている	通常感染症対応をしていないスタッフも対応を余儀なくされる状況が多くみられるため、施設全体で対応ができるようにする。
		<input type="checkbox"/> ロッカールーム、食堂、休憩室、洗面所等でスタッフが密にならないような使用方法を検討し導入されている	スタッフ同士の感染伝播を防ぐため、スタッフが密になる勤務状況を網羅的に把握し、リスクを抑えるための対策を行う(休憩室、控室、ロッカールーム、食事、歯磨き時、喫煙時等)。
	<input type="checkbox"/> スタッフの施設外での行動は、新しい生活様式に基づいた行動がとられている	スタッフが感染拡大防止のためにとるべき施設外での行動(3密を避ける、マスク着用等)について管理者名等で周知、注意喚起をしている。	
資材確保	<input type="checkbox"/> 個人防護具(PPE)、手指衛生物品の在庫を確認している	発生時に備えた平時からの備蓄を確認する。	
教育	<input type="checkbox"/> COVID-19全般や感染管理についての施設スタッフへの教育がされている	介護従事者だけでなく、事務や委託業者等も含め教育を実施する。正しい理解のためにも感染様式等の基本的な知識や標準予防策の基本知識を持つこと、実践的な教育が行われることが重要となる。	
連携	行政	<input type="checkbox"/> 地域や他施設での流行状況を把握している	地域のCOVID-19発生状況について、県庁ホームページなどで情報収集する。
		<input type="checkbox"/> 管轄の保健所の連絡先を把握しており、疑い症例・確定例が発生した際、及びその後の手順が確認されている	COVID-19が発生した際の行政的な流れ(発生届、施設内療養調整、その後の疫学調査等)を共有しておく。患者発生時に自治体(保健所)が必要とする情報がすぐに共有できるように、事前にデータのまとめ方等すり合わせをしておく。
	委託	<input type="checkbox"/> 施設内でのCOVID-19患者発生時の対応について、委託業者と相互に確認している	感染者発生時に業務継続可能かどうか、どこまでなら業務可能かを確認する(感染への過剰防衛から業務撤退をすることによるスタッフへの負担増加がある)。
		<input type="checkbox"/> 委託スタッフの勤務管理を行っている	委託スタッフの体調不良(発熱等のCOVID-19様症状)時の情報共有の依頼、必要な個人防護具(PPE)の確保状況等の相談がされているか取り決めの確認をする。

高知県版新型コロナウイルス感染症(COVID-19)社会福祉施設対策チェックリスト【医療提供体制詳細版】

令和4年5月 作成

チェック項目		ポイント
組織体制	<input type="checkbox"/> 対策チームの総括者や各担当責任者を決めている	COVID-19感染者発生時の対策チームにおける、総括者や各担当責任者(患者管理担当者、外部調整担当者等)を決める。
医療体制の整備	支援体制	<input type="checkbox"/> COVID-19感染者発生時の医療提供体制について、医師(嘱託医)等と調整出来ている 【医療提供機関名: _____】 発生時に医師(嘱託医)等から速やかに支援が得られるように、事前に連絡方法、情報共有体制や支援内容(診察、治療、検査等について)についてすり合わせを行う。
	<input type="checkbox"/> スタッフ不足時を想定し、看護師・介護職員等の人材確保が出来ている	クラスター発生によるスタッフ不足時の看護師・介護職員等が確保できるよう、施設内や法人等のグループ内等での支援が可能かどうかを確認している。
	患者情報等	<input type="checkbox"/> 入所者の服薬状況等について情報を把握し、提示出来る コロナ治療薬選定時、禁忌薬内服の有無が確認できるように入所者の服薬状況を把握し、医師(嘱託医)等へ情報提供できるように準備をしている。また、経口投与が可能か把握している。
	<input type="checkbox"/> 入所者の基礎疾患、ワクチン接種歴等の基礎データを把握出来ている	病状把握のため、基礎疾患、ワクチン接種状況、内服薬、身長・体重等基礎データを把握し、記録している。
<input type="checkbox"/> 施設内の看護師等が入所者の健康管理を行い、有症状者を嘱託医等に報告出来る	当該看護師等が感染等で不在の場合の対応方法を確認している。	
感染管理	資材の準備	<input type="checkbox"/> 個人防護具(PPE)、手指衛生物品が確保できている 発生時に備え、個人防護具(ガウン、マスク、フェイスシールド、手袋、キャップ等)や手指衛生物品の在庫を確認し、確保出来ている。
	<input type="checkbox"/> COVID-19感染者発生後、個人防護具(PPE)や手指衛生物品が補充できる体制を整えている	患者発生後、個人防護具(ガウン、マスク、フェイスシールド、手袋、キャップ等)や手指衛生物品を追加確保できるよう準備をしている。
	<input type="checkbox"/> COVID-19感染者発生後、ゾーニングに必要な備品が準備出来ている。	COVID-19患者発生後、専門職者とともにゾーニングを実施する際に必要な、施設の図面・ビニールテープ(赤・黄色・緑)、感染性廃棄物のゴミ箱等の準備をしている。
検査実施体制の整備	検査体制の確保	<input type="checkbox"/> COVID-19感染者発生後の検査について、検査協力医療機関と検査実施について調整ができています。 COVID-19感染者発生後の検査について、検査協力医療機関と検査実施について事前に調整(各機関の担当者の把握、情報共有の方法、検査当日の流れの確認等)する。
	<input type="checkbox"/> COVID-19感染者発生後の検査について、検査協力医療機関で実施する場合、施設からの移動手段等の確保ができています。	COVID-19感染者発生後の検査について、検査協力医療機関で実施する場合、施設からの移動手段や付添人の確保ができています。

※下記についても必ず記載してください。(8は任意)

1	法人名:
2	施設名:
3	施設所在地市町村:()市・町・村
4	定員:()名
5	職員数:()名 ※職種は問わない
6	記入者氏名:
7	記入者連絡先:TEL
8	その他連絡事項等: